

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科 芸術

科目 **音樂 I**

教科： 芸術

科目：音樂 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（１組：小森） （２・３組：佐間野） （４組：齋木） （５・６組：齋木） （７・８組：齋木）

使用教科書：（教育出版 T u t t i +）

教科	芸術	の目標：
----	----	------

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目	音楽 I	の目標：
----	------	------

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	鑑 賞					
1 学 期	概観 【知識及び技能】譜表や音名、リズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。得た知識を生かして読譜しようとしている。	・音記号や音名、音符や休符、音楽記号等について学習し、読譜能力を身に付ける。 ・リズムに関する学習。 ・音名に関する学習。 ・音符と休符に関する学習。 ・楽器に関する学習。 ・楽器の書き方に関する学習。	○	○	○	【知識及び技能】譜表や音名、リズムを理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。得た知識を生かして読譜しようとしている。	○	○	○	4
	ソルフェージュ 【知識及び技能】正しい音程やリズム感を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的にリズム表現等を行いソルフェージュ能力を身に付けようとしている。	リズム・ソルフェージュ 簡単なリズムを感じながらリズム感良し(表現できる力)を身に付ける。 音程を感じながらリズム表現等を行う力を身に付ける。 他のパートを聴きながらリズムを付ける。 主体的に、リズムを奏する等の学習。 ・音程に関する学習。 ・歌唱力などのソルフェージュ 正しい音程とリズムで歌唱表現できる力を身に付ける。	○	○	○	【知識及び技能】正しい音程やリズム感を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的にリズム表現等を行いソルフェージュ能力を身に付けようとしている。	○	○	○	4
	クラシックギター 【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	ギターの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、ベースライン等を演奏表現する。 ・ギターの種類に関する学習、ギターの構造および各部位の名称に関する学習、ギターフェーズ種およびダイアグラムに関する学習、基礎的な奏法に関する学習、独奏、二重奏、合奏。	○	○	○	【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	10
	歌唱 校歌 【知識及び技能】校歌の歌詞と旋律を理解し、正しい音程とリズムで良い発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞を理解し、良い発声で歌唱表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に校歌を覚え、他者との調和を意図して歌唱しようとしている。	校歌の学習。 ・歌詞と音楽の構造や歌詞を理解する。 ・音程、リズムを理解し、身体の使用方を意識して良い発声で歌唱する。	○	○	○	【知識及び技能】校歌の歌詞と旋律を理解し、正しい音程とリズムで良い発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞を理解し、良い発声で歌唱表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に校歌を覚え、他者との調和を意図して歌唱しようとしている。	○	○	○	4
2 学 期	概観 【知識及び技能】譜表や音名、リズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。得た知識を生かして読譜しようとしている。	・音記号や音名、音符や休符、音楽記号等について学習し、読譜能力を身に付ける。 ・リズムに関する学習、音名に関する学習、音符と休符に関する学習、音楽記号に関する学習。	○	○	○	【知識及び技能】譜表や音名、リズムを理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。得た知識を生かして読譜しようとしている。	○	○	○	4
	クラシックギター 【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	ギターの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、ベースライン等を演奏表現する。 ・ギターの種類に関する学習、ギターの構造および各部位の名称に関する学習、ギターフェーズ種およびダイアグラムに関する学習、基礎的な奏法に関する学習、独奏、二重奏、合奏。	○	○	○	【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	8
	歌唱 / タブラ・ミュージック 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ペルカトで歌唱する。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ペルカトで歌唱する。ピアノの関わりを理解し、表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に作品の良さや美しさを味わい、作品に合った発声で歌唱表現しようとしている。	・タブラ・ミュージックについて作品の良さや美しさを、曲想と音楽の構造や歌詞の関わりを理解し、身体の使用方を意識して良い発声で歌唱表現する。 ・複数の歌手・ピアニストによる演奏の鑑賞、歌詞およびタブラの学習、曲想と音楽の構造に関する学習、歌唱。	○	○	○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ペルカトで歌唱できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ペルカトで歌唱する。ピアノの関わりを理解し、表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に作品の良さや美しさを味わい、作品に合った発声で歌唱表現しようとしている。	○	○	○	6
	キーボード 【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	キーボードの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、単音バス等を演奏表現する。 ・音階および鍵盤に関する学習、指づかいや身体の使用方に関する学習、右手のみによる演奏、様々な音階・旋律の特徴や変奏、変奏、対照的な手法を活用した旋律の創作、左手のみによる演奏、両手による演奏、独奏、二重奏、合奏。	○	○	○	【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	10
3 学 期	概観 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わり、作品の特徴を感じる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に作品の良さや美しさを味わい、曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わりを感じようとする。	ピアノ作品の鑑賞。 曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わり、作品の特徴を学び、作品の良さや美しさを学び、感受する。他者の創作の特徴や良さを感じる。	○	○	○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わり、作品の特徴を感じる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に作品の良さや美しさを味わい、曲想と音楽の構造や楽器の構成等、文化的・歴史的背景との関わりを感じようとする。	○	○	○	2
	朗読 C. J. M. Blues 【知識及び技能】曲の構成について理解する。ブルーノート、コードについて理解する。提示されたリズムや音型を模倣して表現する。ジャズについてリズム表現、音階を理解し演奏表現する。 【思考力、判断力、表現力等】ブルーノート、コード・トーン・ジャズらしいリズム表現等学習したことを活かして表現を創意工夫している。提示された例や模倣練習を活かして創意工夫して独自の旋律を創作している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創作や表現に取り組みようとしている。作品やジャズ表現、創作の面白さを感じ取ろうとして取り組んでいる。ブルーノート、コード・トーン・ジャズらしいリズム表現等学習したことを活かして表現を創意工夫しようとしている。提示された例や模倣練習を活かして創意工夫して独自の旋律を創作しようとしている。	ブルーノート、コード・トーンについて学ぶ。 リズム模倣を行う。 [C. J. M. Blues] 音の構成を徐々に増やしながら音型の例を提示し、コール＆レスポンスの形式で模倣を行わせる。 楽音やリズムを活用して旋律を創作する。 グループで創作した旋律をセッションでベースの音型に合わせて演奏する。	○	○	○	【知識及び技能】曲の構成について理解できる。ブルーノート、コード・トーンについて理解できる。提示されたリズムや音型を模倣して表現できる。ジャズらしいリズム表現、音階を理解し演奏表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】ブルーノート、コード・トーン・ジャズらしいリズム表現等学習したことを活かして表現を創意工夫している。提示された例や模倣練習を活かして創意工夫して独自の旋律を創作している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創作や表現に取り組みようとしている。作品やジャズ表現、創作の面白さを感じ取ろうとして取り組んでいる。ブルーノート、コード・トーン・ジャズらしいリズム表現等学習したことを活かして表現を創意工夫しようとしている。提示された例や模倣練習を活かして創意工夫して独自の旋律を創作しようとしている。	○	○	○	10
	キーボード 【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	キーボードの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、単音バス等を演奏表現する。 ・音階および鍵盤に関する学習、指づかいや身体の使用方に関する学習、右手のみによる演奏、様々な音階・旋律の特徴や変奏、変奏、対照的な手法を活用した旋律の創作、左手のみによる演奏、両手による演奏、独奏、二重奏、合奏。	○	○	○	【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	8
	キーボード 【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	キーボードの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、単音バス等を演奏表現する。 ・音階	○	○	○	【知識及び技能】基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用方を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	合計 78

萩窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科

藝術

科目

美術 I

教科： 芸術

科目：美術 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組、第3,4学年Ⅱ部（再履修講座）

教科担当者：(1・2・3・4・5・6組：武田) (7・8組：川崎)

使用教科書：（ 高校生 の 美術1）

教科 **芸術** の目標：

【知識及び技能】芸術作品のよさを味わったり表現したりするための必要な知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】芸術作品に触れ表現の意図や創意工夫などを感じとり、芸術の文化に対する見方を深める。

【学びに向かう力、人間性等】芸術の文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術の文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的・協働的に美術の幅広い創造活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画						
1 学 期	A 単元 絵画（鉛筆での模写） 【知識及び技能】 鉛筆の使用法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 制作の過程を理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・鳥獣戯画、北斎漫画等の模写 ・鉛筆の基本的な使用法の理解 ・安全の留意 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 鉛筆の使用法について理解している。 【思考・判断・表現】 作者の意図や文化的背景を理解し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 模写に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	B 単元 絵画（風景画） 【知識及び技能】 風景画について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な視点から表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 画題に主体的に課題に取り組む。	・校内風景を鉛筆で素描。 ・様々な視点で創意工夫して表現。 ・風景画に関する作品を鑑賞。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 風景画について理解している。 【思考・判断・表現】 創意工夫し造形的な視点について理解し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 風景画に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	C 単元 絵画（静物画） 【知識及び技能】 静物の素描について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な視点について理解し着色する。 【学びに向かう力、人間性等】 画題に主体的に課題に取り組む。	・素描をもとに、瓶などの静物をアクリル絵の具で表現。 ・静物画に関する作品を鑑賞。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 静物の素描について理解している。 【思考・判断・表現】 静物の形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 静物画に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	15
2 学 期	D 単元 彫刻・デザイン（木彫） 【知識及び技能】 木彫彩色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 彫刻刀、アクリル絵の具を効果的に使用し飾り板を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・古今東西の絵画作品等をもとに、テーマを設定 ・彫刻刀、アクリル絵の具を安全に使用。 ・浮き彫りと着色。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○	○		○	【知識・技能】 木彫彩色を理解し安全に制作している。 【思考・判断・表現】 テーマに沿って彫刻刀、アクリル絵の具を使用し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 木彫彩色に主体的に制作に取り組んでいる。	○	○	○	26
	E 単元 デザイン（切り絵） 【知識及び技能】 切り絵の制作過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の効果的なデザインを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に課題に取り組む。	・切り絵の装飾デザインを理解し表現。 ・カッターを安全に使用。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○	○		○	【知識・技能】 切り絵の制作過程を理解している。 【思考・判断・表現】 切り絵の効果的なデザインを表現し、安全に制作してしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 切り絵制作に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
3 学 期	F 単元 絵画（石膏デッサン） 【知識及び技能】 石膏デッサンの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・鉛筆での石膏デッサン方法を理解し制作。 ・陰影など造形的な視点について理解し表現。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 石膏デッサンの基本を理解している。 【思考・判断・表現】 形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 石膏デッサンに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	G 単元 絵画（人物画） 【知識及び技能】 人物画の基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表情や人物画の造形的な視点について理解し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・人物画の技法等に興味・関心を持ち、制作。 ・表情や人陰影について理解し表現。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 人物画の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 表情や人物画の造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物画に主体的に取り組もうとしている。	○	○		9 合 計 78

萩窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科

藝術

科目

書道 I

教 科： 藝術

科目：書道Ⅰ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 2・3・5・6・8組

教科担当者：（2・3・5・6・8組：秋元）

使用教科書：（教育図書 書Ⅰ

教科 **芸術** の目標：

【知識及び技能】基本的書道用語、書体を理解する。臨書技能及び創作能力を高め、芸術の楽しさを知る。人生の糧になることを知る。

【思考力、判断力、表現力等】学習に前向きに取り組み、芸術的思考・判断・表現を高める。

【学びに向かう力、人間性等】芸術は人生や社会を作る重大な一翼を担うことを念頭に学習を深める。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書は歴史や文化と不即不離で発達したグローバルな芸術。この独特の世界における歴史文化的学術知識を並行して学ぶ。また芸術表現ではとりわけ、毛筆という特殊で高度な筆記具の使用技術や東洋独特の美意識や倫観を高める。	一人ひとりの個性と能力を最大限発揮しながら、芸術性や言語と文字に関する知識を動員して、心を表すことを育て、多様な文字表現・毛筆表現の向上にチャレンジする。また世界的な視野に立ち、東洋的、日本的民族文化を理解する。	日本的な言葉と文字の世界に理解を深め、その文化芸術に誇りを見出したい。また、書表現の魅力や可能性に関心を抱きたい。道具の整備や手入れをしっかりとすることなどを心掛ける精神を養いたい。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	オリエンテーション。書へのいざない。鑑賞へのいざない。書道道具の確認。	・指導事項 書道概説 ・教材 教科書、書道セット	○			○	書についての関心度が深まったか。道具の準備ができたか。	○	○	○	4	
	楷書体の学習 有名古典を通じ、歴史や文化的側面と書表現との連絡について学ぶ。礼教書として発達した古代漢字書道が、現代人の心をも打ち続ける事について考える。これが毛筆の発達と不即不離の関係にあることを体験する（以下全項目についてこの指針に倣う）。	同上		○		○	古典名や作者・時代を覚えたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	10	
	楷書体の創作	同上			○	○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現ができたか。	○	○	○	6	
	篆書と篆刻	同上	○			○	篆書体の特性を理解できたか。文字のデザインに工夫ができたか。	○	○	○	10	
2 学 期	行書体の学習	同上			○	○	古典名や作者・時代を覚えたか。柔らかい流れのある運筆ができたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	10	
	楷書体の創作	同上			○	○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体特有の正確な字形と運筆表現ができたか。	○	○	○	6	
	写経	同上			○	○	少筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現や全体感の観察ができたか。あきらめずに最後まで集中したか。	○	○	○	8	
	ペン字	同上	○			○	毛筆的な書き方を応用できたか。楷書体の正確な表現ができたか。	○	○	○	6	
3 学 期	仮名の学習	同上				○	○	連綿と散らし書きにチャレンジできたか。細線の魅力、かなの歴史、日本文化上の意義が理解できたか。	○	○	○	12
	隷書体の学習	同上			○	○	独特な用筆法と字形結構を理解できたか。	○	○	○	6	
合 計												
78												